

(学年) 第2学年、(教科・科目) 理科

協働学習

(単元) 地球をとり巻く大気のように

(本時のねらい)

気象観測で得られたデータを表やグラフなどに整理し、天気と気圧、気温、湿度の関係を見いだそうとして取り組み、見つけた関係性を説明することができる。

(ICT活用方法)

気象要素についてプレゼンテーションソフトを使って説明した。

気象庁のホームページから観測データを利用させた。

授業支援クラウドアプリのグループ学習を用いてデータを共有した。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> 既習の内容を振り返りながら、本時の課題を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 気象要素についてプレゼンテーションソフトを使って説明する。 気象庁のホームページから観測データを閲覧できることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションソフトを使って説明する。
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> 班ごとに観測データを調べる地域を決め、データを調べて一人一台端末のワークシートに整理する。 整理した観測データから、天気と気温や気圧、湿度にはどのような関係があるか考える。 全体で考えの共有を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べる地域や時期が重ならないように分担を決める。 授業支援クラウドアプリのグループ学習を用いてデータを共有する。 電子黒板にワークシートを映して、考えたことを発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業支援クラウドアプリのグループ学習を用いてデータを共有する。 電子黒板にワークシートを映して、考えたことを発表する。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめを行う。 一般に天気と気温や気圧、湿度などにはその変化に関連性があることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りをさせる。 	

（授業の様子）



教材投影方法



一人一台端末で調べている様子

（生徒の反応と課題、改善を要する点）

一人一台端末を使うことで、教科書や資料集にはないデータを扱うことができたり、画像を検索したりすることができている。

班で解決する場合、一人一台端末で情報共有ができ、問題解決への道筋がつかみやすい。